

今後の県立高等学校教育の在り方に関する意識調査結果

資料4

1 調査期間

平成20年6月2日（月）～6月13日（金）

2 調査対象

各県立高等学校に所属する校長、副校長、教頭、教諭、養護教諭及び実習教諭

3 回答状況

回答者数2,172人 [回答者率80.4%]

【回答結果】

問1		現在の岩手県の高校の種類や数などは、県民や生徒・保護者の多様な進路選択ニーズにどの程度対応できていると考えますか。 (1つ選択)		(人)	(%)
①	十分対応している			141	6.5%
②	ある程度対応している			1508	69.2%
③	どちらかといえば対応できていない			194	8.9%
④	対応できていない			94	4.3%
⑤	どちらともいえない			221	10.1%
			合計	2158	
上記問1で③または④を回答した理由を記入してください。				(人)	(%)
(別紙参照)			合計	233	10.7%
問2		1学年あたりの学級数について現在の県立高等学校新整備計画では、4～8学級を望ましい学校規模としていますが、あなたは望ましい学校規模をどのように考えますか。(複数回答可)		(人)	(%)
普通科高校	1			19	0.9%
	2			76	3.5%
	3			239	11.0%
	4			718	32.9%
	5			966	44.3%
	6			1090	50%
	7			393	18.0%
	8			281	12.9%
	9学級以上			21	1.0%
専門高校	1			19	0.9%
	2			102	4.7%
	3			502	23.0%
	4			1013	46.5%
	5			762	35.0%
	6			611	28.0%
	7			166	7.6%
	8			122	5.6%
	9学級以上			12	0.6%
普通科・専門学科併設高校	1			11	0.5%
	2			41	1.9%
	3			250	11.5%
	4			747	34.3%
	5			852	39.1%
	6			899	41.2%
	7			262	12.0%
	8			175	8.0%
	9学級以上			15	0.7%
総合学科高校	1			18	0.8%
	2			48	2.2%
	3			246	11.3%
	4			800	36.7%
	5			830	38.1%
	6			792	36.3%
	7			204	9.4%
	8			156	7.2%
	9学級以上			24	1.1%
			合計	13482	

1学級の定員について

問3 (1)「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」に基づき、1学級40人定員としていますが、あなたが考える理想の定員は何人ですか。(各学科1つ選択)

		(人)	(%)
普通科系学科	～19	11	0.5%
	20	47	2.2%
	21～24	26	1.2%
	25	102	4.7%
	26～29	63	2.9%
	30	937	43.0%
	31～34	120	5.5%
	35	499	22.9%
	36～39	43	2.0%
	40人	226	10.4%
専門学科	～19	16	0.7%
	20	105	4.8%
	21～24	50	2.3%
	25	245	11.2%
	26～29	83	3.8%
	30	1033	47.4%
	31～34	101	4.6%
	35	281	12.9%
	36～39	20	0.9%
	40人	95	4.4%
総合学科	～19	17	0.8%
	20	72	3.3%
	21～24	41	1.9%
	25	187	8.6%
	26～29	69	3.2%
	30	992	45.5%
	31～34	106	4.9%
	35	334	15.3%
	36～39	22	1.0%
	40人	128	5.9%
定時制	～19	330	15.1%
	20	603	27.7%
	21～24	66	3.0%
	25	221	10.1%
	26～29	36	1.7%
	30	471	21.6%
	31～34	54	2.5%
	35	111	5.1%
	36～39	9	0.4%
	40人	54	2.5%
合計		8026	

1学級の定員について

問4 (2) 1学級40人定員による学級数・生徒数により教員の配置人数を定めていますが、39人以下の場合には配置人数が制約されます。(教員配置は1学級40人定員が基準であり、少人数学級の場合は配置数が少なくなります)このような制約を前提とした場合、あなたの考える定員は何人ですか。(各学科1つ選択)

		(人)	(%)
普通科系学科	～19	12	0.6%
	20	45	2.1%
	21～24	22	1.0%
	25	87	4.0%
	26～29	41	1.9%
	30	621	28.5%
	31～34	70	3.2%
	35	412	18.9%
	36～39	65	3.0%
	40人	675	31.0%
専門学科	～19	14	0.6%
	20	93	4.3%
	21～24	26	1.2%
	25	161	7.4%
	26～29	56	2.6%
	30	711	32.6%
	31～34	64	2.9%
	35	308	14.1%
	36～39	50	2.3%
	40人	525	24.1%
総合学科	～19	15	0.7%
	20	68	3.1%
	21～24	27	1.2%
	25	123	5.6%
	26～29	45	2.1%
	30	664	30.5%
	31～34	72	3.3%
	35	320	14.7%
	36～39	56	2.6%
	40人	556	25.5%
定時制	～19	253	11.6%
	20	425	19.5%
	21～24	39	1.8%
	25	176	8.1%
	26～29	34	1.6%
	30	395	18.1%
	31～34	42	1.9%
	35	127	5.8%
	36～39	25	1.1%
40人	418	19.2%	
合計		7938	

問5 現在、設置されている県立高校の各学科の全日制定員(構成比)の方向性について、あなたはどう考えますか。(各学科1つ選択)		(人)	(%)
普通科	現状どおり	1076	49.4%
	増やすべき	422	19.4%
	減らすべき	369	16.9%
	わからない	214	9.8%
普通・理数科	現状どおり	927	42.5%
	増やすべき	209	9.6%
	減らすべき	608	27.9%
	わからない	290	13.3%
体育科	現状どおり	837	38.4%
	増やすべき	129	5.9%
	減らすべき	640	29.4%
	わからない	431	19.8%
農業科	現状どおり	1020	46.8%
	増やすべき	292	13.4%
	減らすべき	349	16.0%
	わからない	390	17.9%
工業科	現状どおり	1044	47.9%
	増やすべき	330	15.1%
	減らすべき	321	14.7%
	わからない	366	16.8%
商業科	現状どおり	1006	46.1%
	増やすべき	290	13.3%
	減らすべき	355	16.3%
	わからない	391	17.9%
家庭科	現状どおり	878	40.3%
	増やすべき	171	7.8%
	減らすべき	513	23.5%
	わからない	474	21.7%
水産科	現状どおり	995	45.6%
	増やすべき	157	7.2%
	減らすべき	401	18.4%
	わからない	488	22.4%
総合学科	現状どおり	594	27.2%
	増やすべき	280	12.8%
	減らすべき	754	34.6%
	わからない	401	18.4%
合計		18412	

問6 「小規模普通科高校」について		(人)	(%)
現在、1～3学級規模の普通科高校が22校あります。この高校は、進学や就職など多様な生徒の進路希望に対応した教育を実施しています。あなたは、小規模普通科高校の方向性について、どう考えますか(1つ選択)			
①将来的にも、増やした方がよい		138	6.3%
②現在の高校を維持・存続させていった方がよい		1019	46.7%
③統廃合を進めていった方がよい		233	10.7%
④状況によっては統廃合もやむを得ない		624	28.6%
⑤どちらともいえない		132	6.1%
合計		2146	

問7 「普通科・専門学科併設高校」について			
現在、普通科と専門学科(職業学科)を併設している高校は5校あります。(平館、大東、千厩、高田、種市)			
あなたは、普通科・専門学科併設高校の方向性について、どう考えますか。(1つ選択)			
		(人)	(%)
①将来的にも、増やした方がよい		213	9.8%
②現状のままでよい		770	35.3%
③将来的には、減らした方がよい		665	30.5%
④どちらともいえない		504	23.1%
	合計	2152	
上記問7で③と回答した方に伺います。併設をやめる形態についてどう考えますか。			
		(人)	(%)
①普通科と専門学科を分離(片方の学科を他校と統合)して、それぞれを単学科の高校にした方がよい		396	18.2%
②どちらかの学科を廃止して、単学科の高校にした方がよい		235	10.8%
③どちらともいえない		103	4.7%
	合計	734	

問8 「総合的な専門高校」について			
総合的な専門高校とは、これまでの各専門高校における専門教育の専門性を確保するとともに、これからの複合化する産業の動向にも対応できるよう、関連する他の専門分野の教科・科目の学習も可能となる、複数の専門学科を併設した高校です。現在、花北青雲高校(商業・工業・家庭科)、大船渡東高校(工業・農業・商業・家庭科)があります。平成21年4月釜石商工高校(仮称)が開校予定です。あなたは、総合的な専門高校の方向性について、どう考えますか。(1つ選択)			
		(人)	(%)
①将来的にも、増やした方がよい		438	20.1%
②現状のままでよい		759	34.8%
③将来的には、減らした方がよい		428	19.6%
④どちらともいえない		522	23.9%
	合計	2147	

問9 「専門高校」について			
現在、専門学科(農業・工業・商業・水産科等)を有する専門高校は21校あります。			
あなたは、専門高校の方向性について、どう考えますか。(1つ選択)			
		(人)	(%)
①将来的にも、増やした方がよい		163	7.5%
②現在の高校を維持・存続させていった方がよい		1063	48.8%
③統廃合を進めていった方がよい		244	11.2%
④状況によっては統廃合もやむを得ない		450	20.6%
⑤どちらともいえない		232	10.6%
	合計	2152	
上記問9で③または④と回答した方に伺います。仮に統合するとした場合、どのような統合形態を考えますか。			
		(人)	(%)
①異なる学科を有する専門高校を統合して、総合的な専門高校にした方がよい		320	14.7%
②同一学科を有する専門高校同士を統合した方がよい		277	12.7%
③専門高校同士ではなく、普通科高校等と統合した方がよい		60	2.8%
④どちらともいえない		106	4.9%
	合計	763	

問10 「総合選択制高校」について			
総合選択制高校とは、普通科にいくつかの「学系」を設け、生徒が自分の興味や関心、進路志望に応じて各学系に入学し学習するとともに、必要に応じて他の学系の教科・科目も選択できるなど、幅広く学習できる高校です。現在、不来方高校(人文・理数、芸術、外国語、体育学系)、花巻南高校(人文科学自然科学、スポーツ健康科学、国際科学学系)があります。あなたは、総合選択制高校の方向性について、どう考えますか。(1つ選択)			
		(人)	(%)
①将来的にも、増やした方がよい		293	13.4%
②現状のままでよい		898	41.2%
③将来的には、減らした方がよい		530	24.3%
④どちらともいえない		428	19.6%
	合計	2149	

問 11	「中高一貫教育校」について中高一貫教育校は、高校入試の影響を受けることなく、6年間を通したゆとりある教育の中で、生徒が自分の得意な分野を伸ばしたり、自分の進路を探求したりできる学校です。あなたは、中高一貫教育校の方向性について、どう考えますか。[連携型中高一貫校] 軽米高校、葛巻高校[併設型中高一貫校] 一関第一高校附属中学校(仮称) (平成21年4月開校予定)		
【連携型中高一貫校】(1つ選択)		(人)	(%)
①将来的にも、増やした方がよい		256	11.7%
②現状のままでよい		664	30.5%
③将来的には、減らした方がよい		559	25.6%
④どちらともいえない		669	30.7%
合計		2148	
【併設型中高一貫校】(1つ選択)		(人)	(%)
①将来的にも、増やした方がよい		371	17.0%
②現状のままでよい		492	22.6%
③将来的には、減らした方がよい		460	21.1%
④どちらともいえない		799	36.7%
合計		2122	

問 12	「定時制・通信制高校」について現在、定時制高校(夜間部)は10校に設置されています。その内、杜陵高校と久慈長内校は多部制・単位制高校です。多部制・単位制高校とは、定時制課程であって1部(午前授業)、2部(昼間授業)、3部(夜間授業)で構成される単位制高校です。修業年限は4年を基本としますが、他の部の科目も併せて履修することにより3年で卒業することも可能です。平成21年4月杜陵高校奥州校(仮称)が開校予定です。また、通信制は杜陵高校(本校、水沢分室、宮古分室)に設置されています。あなたは、定時制・通信制高校の方向性について、どう考えますか。		
【定時制高校(夜間部)】1つ選択		(人)	(%)
①将来的にも、増やした方がよい		129	5.9%
②現状のままでよい		1389	63.7%
③将来的には、減らした方がよい		330	15.1%
④どちらともいえない		304	13.9%
合計		2152	
【多部制・単位制高校】1つ選択		(人)	(%)
①将来的にも、増やした方がよい		530	24.3%
②現状のままでよい		1173	53.8%
③将来的には、減らした方がよい		122	5.6%
④どちらともいえない		320	14.7%
合計		2145	
【通信制高校】1つ選択		(人)	(%)
①将来的にも、増やした方がよい		402	18.4%
②現状のままでよい		1361	62.4%
③将来的には、減らした方がよい		85	3.9%
④どちらともいえない		295	13.5%
合計		2143	

問 13	高校における「インクルーシブ教育」(特別支援教育)の支援体制について		
LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)に代表される発達障害等、特別な支援が必要な児童生徒について、小・中学校ではすでに支援対象となっており、調査によると、県立高等学校でも1.2%にあたる人数が在籍していると思われます。そして、中学校卒業後に特別支援学校高等部を希望する生徒が年々増加し、定員を超える状況となっております。社会では、「共に学び共に育つ」教育への関心が高まってきており、高等学校においても特別支援教育に対応していかなければならないと考えられます。そこで、あなたは、高等学校でのインクルーシブ教育(特別支援教育)の体制について、どのように考えますか。(複数回答可)			
		(人)	(%)
①高校に特別支援教室を設置し、個々の生徒の課題に対応した方がよい		469	21.5%
②高校にリソースルーム(通級型の支援教室)を設置し、個々の生徒の課題に対応した方がよい		630	28.9%
③高校の空き教室を利用して特別支援学校分室を設置し、施設設備を共有しながら対応した方がよい		355	16.3%
④特別支援を必要とする生徒は、全て特別支援学校で対応した方がよい		543	24.9%
⑤どちらともいえない		486	22.3%
合計		2483	

問 14 通学区域について現在、8学区(ブロック)を設定しています。(盛岡、岩手中部、胆江、両磐、気仙・釜石、宮古、久慈、二戸)中学生が全日制普通科を受検する場合、この8学区が適用されます。一方、専門学科、総合学科等には学区の制限がありません。あなたは、通学区域の方向性について、どう考えますか。

普通科の学区について(1つ選択)		(人)	(%)
①現状の8学区のままでよい		921	42.2%
②いくつかの学区を統合して、学区数を減らした方がよい		296	13.6%
③いくつかの学区を区切り、学区数を増やした方がよい		109	5%
④8学区の指定をやめて、全県一区にした方がよい		516	23.7%
⑤どちらともいえない		306	14.0%
合計		2148	
専門学科、総合学科等の学区について(1つ選択)		(人)	(%)
①現状の全県一区のままでよい		1662	76.2%
②普通科のように学区を設定した方がよい		146	6.7%
③どちらともいえない		305	14.0%
合計		2113	

問 15 今後の高等学校教育の在り方について、意見・要望等があれば記入してください。		(人)	(%)
(別紙参照)		574	26.3%
合計		574	26.3%

問1 現在の高校の種類や数などが、県民や生徒・保護者の多様な進路選択ニーズに対応できていない理由

※回答者233人中の人数

カテゴリー	主な意見	人数
1 再編の在り方 ニーズへの対応	地域・学校・生徒・保護者の実態や要望を十分把握し反映していない。	13
	生徒数や財政面だけで統廃合、学級減を進めている。	10
	必要なところに学校がない。地域により学校数、学校種が偏っている。	9
	単なる数合わせの再編が多い。	3
2 高校選択 通学環境	地域に高校がなくなり、生徒・保護者の高校選択の幅がなくなった。	19
	統廃合により、遠距離通学者が増加し、保護者の経済的負担が大きい。	11
	地元で高校がなく、通学困難な地域ができています。	6
	通学時間、経費、選択幅等を含め、教育格差や地域間格差が広がっている。	4
3 学科設置・編成	学科の設置に偏りがある。	8
	地域に必要とされる学科が設置されていない。	2
4 普通高校	生徒・保護者は普通科志望が多いのに、普通科の割合が少ない。	4
	普通科、普通科高校の割合が多い。	3
5 専門高校	専門高校が少ない、減少している。	4
	専門高校を維持・拡充すべきである。	4
	専門高校、専門教育が軽視されている。	3
	地域のニーズに即していない。必要性がない。	3
6 総合学科高校	総合学科高校は本当に県民・生徒・保護者等のニーズがあるのか疑問である。	4
	総合学科は特色がなく学校の活性化につながっていない。	3
	専門高校に比べ専門性が確保できず、地域の期待に応えられない。	3
	生徒の多様な進路選択のニーズに対応できていない。	3
	生徒のコース決定や科目選択に問題があり、総合学科の特徴と矛盾している。	3
7 学校規模	小規模校が多すぎて、部活動や進路などで十分な指導ができない。	3
	必要性を感じる小規模校を軽視している。	2
8 進路指導	生徒の多様な進路選択や保護者の希望等に十分対応できていない。	8
	進学指導に偏りすぎている。	3
9 学級定員	少人数学級の実現、教育予算措置が必要である。	5
10 教員配置	教員数が少なく、多様な生徒に対してきめ細かな指導ができない。	10
	教員配置がアンバランスである。	3
11 入学者の状況	不本意入学者が多い。	8
	生徒の学力（輪切り）により、高校を選択している。	8

問15 今後の高校教育の在り方についての、意見・要望等

※回答者574人中の人数

カテゴリー	主な意見	人数
1 高校再編の在り方	高校再編の長期ビジョン、方向性を明確にして進めるべきである。	20
	教育予算の増額、財政支援をすべきである。	19
	小規模校を維持・支援すべきである。	16
	単なる数合わせの統廃合、安易な統廃合、画一的な統廃合をしない。	14
	県民・地域・学校現場の意見要望を十分聴くべきである。	13
	学校・生徒保護者・地域の状況やニーズ等を十分考慮して統廃合を検討すべきである。	11
	本県の教育方針を策定する。岩手県に根ざした教育施策をすべきである。	11
	統廃合もやむを得ない、統廃合を推進すべきである。	10
	学校間格差、地域間格差が生じないようにすべきである。	9
	生徒の学習環境、施設設備の充実を図るべきである。	8
	学校配置、校種バランス、学科バランスを見直すべきである。	8
	通学困難生徒への配慮をすべき。親の経済的負担を考慮すべきである。	8
	通学手段(スクールバス等)の整備、寮の整備をすべきである。	7
	生徒の学ぶ機会、教育の機会均等を確保すべきである。	7
	自宅から通学できる高校を残していくべきである。	6
	適切な学校規模を検討すべきである。	6
	産業振興と共に地域産業を支える人材育成を進めるべきである。	5
	統廃合をこれ以上進めない。	4
	入学定員を見直すべきである。	4
	学区制を見直すべきである。	3
市町村に高校を残す。高校のない空白地域を作らないようにすべきである。	3	
部活動の体制整備をする。	3	
中学校教員の高校理解と進路指導の充実を図るべきである。	3	
2 普通高校	普通高校でも専門教育等が学習できるようにする。	3
	大学進学一辺倒をやめるべきである。	3
3 専門高校	専門高校の維持存続、専門教育の充実を図る。	20
	バランスよく専門学科を配置する。	7
	専門高校が多い。統廃合を進め普通科高校を増やす。	3
	総合的専門高校を増やす。	3
	専門高校の施設設備の充実を図る。	3
専門高校と大学等との連携を図る。	3	
4 総合学科高校	これ以上増やさなくてよい。必要性を感じない。存在に疑問がある。	5
	総合学科の再編(学科改編等)の見直しが必要である。	4
	理念理想と現実が乖離しており実を伴わない。様々な弊害がある。	3
	将来的にも増やし、充実させるべきである。	3
	現在の総合学科の現状を検証して、今後の方向性を見極めるべきである。	3
総合学科を減らす、廃止すべきである。	3	
5 定時制・通信制	単位制・通信制は必要不可欠であり、設置すべきである。	4
6 インクルーシブ教育	高校におけるインクルーシブ教育の議論・研究が必要である。	5
	具体的な支援体制を整える必要がある。	4
	教員の理解促進が重要である。	3
7 学級定員	1学級の定員を減らすべきである。	45
	少人数学級にすべきである。	23
8 教員定数・配置	教員の増員、教員数を確保すべきである。	72
	適切な教員配置をすべきである。	29
	教員定数基準の見直しをすべきである。	25
	職場環境の整備が必要である。	10
	異動基準の見直しをすべきである。	9
	講師・非常勤講師の解消を図るべきである。	4
	教員の多忙化を解消すべきである。	3
	問題を抱える教員への対応が必要である。	3
給与等の待遇改善を図るべきである。	3	
9 入学者選抜	入学者選抜制度を改善すべきである。	6